

大好評!連続開催中!

2025年「ミニ集会」開催のお知らせ!

かとう裕太とともに、香取地域の問題点やこれからの未来について語り合いませんか。みなさまのご来場をお待ちしています!

参加費 無料

事前申込 不要



お気軽にお越しください

2月15日 10:30~11:30 神崎ふれあいプラザ 視聴覚室 (神崎町神崎本宿96番地)

2月16日 10:30~11:30 栗源市民センター 視聴覚室 (香取市岩部700番地)

2月22日 13:30~14:30 山田公民館 講義室 (香取市長岡1303-2)

2月23日 13:30~14:30 多古町コミュニティプラザ 会議室 (多古町多古2855)

3月1日 10:30~11:30 小見川市民センター 301研修室 (香取市羽根川38番地)

3月2日 17:30~18:30 みんなの賑わい交流拠点コンパス メディアスペース (香取市佐原イ134-3)

都合により、急な変更の可能性もございます。最新の情報はお問い合わせまたはWebサイトにてご確認ください。



こちらのQRコードからはすべてのSNSアカウントへアクセスできます!



LINE 友だち募集中!

かとう裕太が情熱を持ってあなたの元に駆けつけます!

- 香取地域について話し合いたい
- 暮らしの中の困り事を相談したい
- かとう裕太の情熱を確かめたい
- 政治のことを知りたい など

下記のメール・お電話、またはSNSのDM・コメントをいただければ、駆けつけます!お気軽にご連絡ください。

発行元・連絡先

かとう裕太後援会 〒287-0003 千葉県香取市佐原イ3340
電話 070-4168-1635 メール mail@yutakato.jp

<https://yutakato.jp>



世代をつなぐ。未来をつくる。

千葉県 香取市議会議員

かとう裕太 新聞

34号

2期目
市議会議員
2児の父
37歳



道の駅多古あじさい館:栗山川



今月の TOPICS

- かとう裕太と語る会質疑応答のご報告
- ミニ集会開催のお知らせ

ごあいさつ

立春を迎え、暦の上では春とはいえ、早朝に駅などに立っていると、まだまだ冷え込みが厳しい日々が続いています。どうぞ体調を崩されませんよう、ご自愛ください。

昨年12月から今年1月にかけて、香取市、多古町、神崎町で「かとう裕太と語る会」ミニ集会を開催しました。自己紹介やこれまでの取り組み、今後の政策をお話した後、皆さまから多くのご意見やご質問をいただき、一つひとつ丁寧にお答えしました。このように地域の声に直接触れる機会をいただけたことに、心より感謝しております。

いただいたご意見は行政に届け、地域発展に活かしてまいります。また、活動の報告は累計発行部数80万部を超えた「かとう裕太新聞」やSNS、ブログなどを通じて引き続きご報告してまいります。それらを通じて、皆さまからいただくご意見をこれからの活動に活かしていくことも大切にしていきたいと思っております。

今後も「かとう裕太と語る会」を開催していきますので、ぜひお気軽にご参加ください。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願いいたします。

香取市議会議員 **かとう裕太**

加藤 裕太 (かとうゆうた) プロフィール

1987年 5月 香取市佐原生まれ、佐原小学校、佐原中学校、八千代松陰高校(野球部)、慶應義塾大学法学部政治学科卒業、京都大学大学院 法学研究科法曹養成専攻修了

2010年 コスモ石油株式会社 入社

2012年 有限会社加藤瓦店 入社

2018年 加藤裕太行政書士事務所開設・香取市議会議員選挙で初当選、最年少議員になる

2022年 香取市議会議員選挙最年少議員として2期目当選

2024年 第二子が生まれ、香取市議会では史上初となる育休を取得

資格:行政書士/宅建士/基本情報技術者/国内旅行業務取扱管理者 趣味:野球、俳句、旅行



子どもと共に橋ふれあい公園へ



小さい頃から野球が大好き

対話集会を重ね、ご参加いただいたみなさんからたくさんのご意見を伺いました。今号では参加者の方とかとう裕太の質疑応答を一部抜粋し、お届けいたします。



雇用・経済・企業誘致



60代男性

この地域で育った若い人たちが、他の場所に出て行ってしまっています。その理由は、この地域に若い人たちが働ける場所が少ないからだと思います。若い人たちが働ける場が増えれば、状況が変わるのではないかと考えていますが、どのようにお考えですか？

かとう裕太

若い方々が外に出て行き、香取地域に戻ってこないという現状は、地域にとって大きな課題だと感じています。実は私自身も、野球をするために高校時代は八千代市に通い、さらに大学・大学院では東京や京都と、香取を離れて生活していました。ただ、一時的に地域を離れたとしても、「やっぱり地元に戻りたい」と思えるようなまちをつくるのが大切だと考えています。

そのためには、働ける場所を増やすことが欠かせません。企業誘致を進めて雇用の場を増やすだけでなく、中小企業や起業家への支援を充実させ、地域発の雇用を生み出す企業を育てていくことも重要です。これらの取り組みを進めていきたいと思っています。

また、現在進められている成田空港のさらなる機能強化が実現すれば、多くの雇用が生まれるだけでなく、周辺地域への企業誘致が進み、そこに住む方々が増えることで新たなまちが形成されると期待しています。このようなポジティブな効果を香取地域にも波及させるための施策を積極的に推進していきたいと考えています。

農業



40代男性

農業を営んでいますが、農地の集積がなかなか進まず、課題を感じています。せっかく30代や40代の世代で、「もっと大規模に農業を展開したい」と意欲を持っている人たちがいるのに、農地が十分に確保できず、規模拡大が難しいという現状があります。こうした問題は、次世代の農業を支えていく上で大きな課題になると思いますが、どのようにお考えでしょうか？

かとう裕太

農地の集積をさらに進めていかないと、本当にもったいないと思います。規模が拡大すれば、作業の効率化が進み、経営面でも大きなメリットが得られるはずです。また、ドローンや自動運転技術の導入が容易になり、省力化や人手不足の解消に加え、データの活用も加速するでしょう。これにより、さらにスマートで持続可能な農業の実現が期待できます。次世代の農業を守り、地域の農業をさらに発展させるためにも、農地の集積を進める取り組みを積極的に推進してまいります。



子育て支援



30代男性

子育て支援の充実について、これまでどのような取り組みをされてきたのですか？

かとう裕太

私自身も2人の子どもを育てる子育て世代の一人として、これまで議会での一般質問などを通じて、子育て世代の負担軽減に取り組んできました。具体的には、給食費の一部無償化を実現したほか、不妊治療が保険適用されたことで自治体独自の助成を取りやめる動きが広がる中、助成を継続する取り組みを進めました。

また、コンパスの「いきいきひろば」では、0歳から2歳のお子さんが利用できなかったため、「きょうだいと同じ場所で見守れない」というご意見を受け、小さいお子さんも滞在できるスペースを新たに設ける対応を行いました。このように、地域の声に耳を傾けながら、さまざまな施策の実現に努めてきました。

これからも、子育ての当事者としての視点を大切にしながら、子育て支援や子どもたちの支援をさらに充実させてまいります。



30代女性

香取市議会では初めて育休を取得されたとのことですが、育休はいかがでしたか？

かとう裕太

子どもが生まれてからは、できるだけ家に帰り、子どもたちや妻と過ごす時間を大切にしてきました。また、家事についても出産前から自分にできる範囲でしっかり関わるよう努めてきました。そのため、育休を取ったことで劇的に変わったことはあまりありませんが、普段よりも子どもや妻と過ごす時間が増えたことは、とても嬉しく感じました。

香取市議会での初育休取得ということで、これを前例として、子育て世代の方々が議員になりやすく、また議員として活動を続けやすい環境を広げていきたいなと思っています。



40代女性

香取市では子どもが遊ぶ場所が少ないと感じています。また、周囲の意見を聞いても同じような声が多いのですが、この点についてどのようにお考えですか？

かとう裕太

香取市のアンケートによると、「香取市が子育てしやすいまちだと思わない理由」の1位は「子どもの遊び場が少ない」という回答で、全体の70%を超えています。私自身も2児の父として子育て中ですが、自宅の近くには、車で行きやすく、さまざまな遊具や遊び場が整備された場所が少ないと感じています。

一方で、地域全体を見渡すと、公園などの子どもが遊べる場所がいくつかあり、実際に訪れてみると子どもたちがのびのびと遊べる環境だと思います。ただ、そうした施設の存在があまり知られておらず、既存の施設が十分に活用されていない現状を感じています。このため、議会では、公園の情報をSNSなどで広く発信し、利用を促進するようPRの強化を提案しました。

多くの方が課題だと感じている問題を改善しなければ、「子育てしやすいまち」と思っていたいただくことは難しいと考えています。子育て世代の負担を軽減する施策に加え、この地域に住み、子どもを育てたいと思ってもらえるまちづくりを進めてまいります。

かとう裕太2期6年の活動



40~50代男性

香取市議会議員として6年間活動されてきましたが、やりたいことの実現に向けて、今どのあたりまで進んでいると感じていますか？何合目に来ている感覚かも含めて教えてください。

かとう裕太

今の感覚では、5合目くらいかなと思います。この6年間で、多くのことを実現することができました。やろうと思ったことの多くが形になってきた一方で、活動が続けられながら新たな課題や、さらに取り組みたい目標が次々と見つかるのを実感しています。

特に、これからは広域的な視点を持ちながら解決しなければならない課題も多くあると感じています。これらの課題にしっかり向き合い、さらに高みを目指して努力を続けていきたいと思っています。

香取地域のみなさまと語る会はまだまだ続きます！ご意見をお待ちしております。(予定は裏面へ)